

思い出のよもぎ餅

中森 由紀子

よ。昔、絵本で読んだんだ。」

聞けば、子どもの頃にお気に入りだった絵本の中に、摘んできたよもぎからお餅を作るお話があり、

柳田先生、こんにちは。突然ですが、先生はよ

もぎ餅は好きですか。私たち家族にはよもぎ餅と、ある一冊の絵本について忘れられない思い出があります。その絵本の題名は『よもぎだんご』といえます。毎年、冬が明けて春になると思い出すのです。

「よもぎ餅を作ろうよ。」

長男が一歳を迎える春、朝が早い息子に付き合っ
て家族揃って散歩していた時のことです。夫が道
端に生える草を見て、突然言いました。「よもぎが
生えているんだ。それを摘んでよもぎ餅を作ろう

（美味しそうだな、いつか作ってみたい。）

と憧れていたのを、ふと思い出したようです。

それほど昔に読んだ絵本のことを鮮明に覚えて
いることに驚きつつ、とても嬉しそうに話す夫を
見ていると私もその思い出のよもぎ餅を食べてみ
たくなり、

「いいよ、作ろうよ!」

と返事しました。

そこでまずよもぎを摘み取り、家までの道すが
らスーパで団子用の粉とすり鉢を購入しました。
そして次はゆいの森に行き、『よもぎだんご』の絵

本を探しました。検索すると運良く在架中で、夫は数十年ぶりにその絵本と再会することができました。必要なものが揃い、家に帰ります。

いよいよ、お餅を作ります。絵本を開くと懐かしいレシピが載っていました。夫は目をキラキラさせています。

よもぎをすり潰し、粉と水と混ぜ合わせ、丸めて、茹でて……。多少不揃いながら、絵本と同じお団子が出来上がりました。あんこを添え、完成です。よもぎがふわりと香るお団子は絶品でした。頂きながら、私は子どもの頃の方を思い浮かべました。絵本を読んでもらいながら、手作りのよもぎ餅に想いを馳せる男の子。彼はこのとき絵本から受け取った衝撃や感動を、父となった今までずっと胸に留めていたのです。

この経験を通じて、絵本の持つパワーに驚きました。絵本を読んだ思い出は、これほどまでも鮮烈に私たちの心に感動を残すのですね。

初めて読んだ時の感動と、時間が経って、違う視点から見えてくる感動。素敵な絵本には、いつ読んでも面白さを感じるような仕掛けが隠されているのだな^あと気づかされました。まさに、絵本は一生の友人です。

今、私は二人の息子たちにも絵本を読み聞かせています。熱心に聞くこともあればそうでないときもあります。この沢山の絵本との出会いの中から、一生心に残り続けるような出会いがあればいいな、と思っています。

きつとその体験は、彼らの人生を少し楽しく、色鮮やかに、豊かにしてくれるのです。よもぎ餅

を作りながら感じたような、燦めくような幸せの
時が、彼らにも訪れますように。そう願いながら、
毎日絵本を手に取っています。

〳柳田邦男先生からのメッセージ〳

幼い子にとって、絵本に親しむことの意味は、
いくつもあります。一つは、そのとき親子やきよ
うだいで、あるいはひとりで読んでいても、絵本
の世界に入り込んで、楽しい時間を過ごすことが
できるということです。楽しくおだやかな時間を
過ごすということは、その子のこころの発達にだ
いじなことです。

二つめは、感性や知識が豊かになるということ。
三つめは、特に親子の読み聞かせを毎日している
と、そのスキンシップ的なつながりが、子どもの

親に対する安心感、信頼感、愛着心が自然に育ま
れ、子どもの人間形成（人格形成）に大きな意味
を持つということ。

そして、四つめは、物語性のある絵本が好きに
なってくると、人間の関係性についての理解が豊
かになること。さらに五つめは、特に大好きにな
った絵本の記憶がこころに深く刻まれると、大人
になってからでもその記憶が折に触れて懐かしく
思い出され、日常生活のなかでの気持ちを生き生
きとしたものにするということです。

中森さんの文を読んで、こうした幼き日の絵本
の意味の五つめにあげたことが、すばらしいかた
ちで見られるなあと感じました。

休日だったのでしょいか。赤ちゃんと一緒に夫
婦で朝の散歩に出る。その穏やかな情景だけでも、

いいなと思いますが、夫が道端のよもぎを見て、「よもぎ餅を作ろうよ」と言っていると、妻も子どもの頃にお気に入りだった絵本『よもぎだんご』を思い出すという呼吸の合い方は、なんともすてきです。

夫婦そろって幼少期に『よもぎだんご』にころを引かれた経験を忘れられないものとして持っている。そして、お二人が赤ちゃんを育てる年になって、道端の草を見ただけで、よもぎ餅を作ろうと思う。こころの豊かさ、生活の豊かさというのは、こういうことではないかと思っています。

中森さんの文章 ―― 「初めて読んだ時の感動と、時間が経って、違う視点から見えてくる感動。

素敵な絵本には、いつ読んでも面白さを感じるよ
うな仕掛けが隠されているのだなあと気づかされ

ました。まさに、絵本は一生の友人です」

しっかりとした絵本論を書いてくださいました。
嬉しいおたよりでした。